



二〇〇四年十一月六日(土)に、埼玉大学第二食堂において教養学部同窓会(けやき会)主催、教養学部教授会後援による就職活動支援相談会が開催されました。この相談会は、おもにこれから就職活動に本格的に取り組む学部三年生のために、先輩にあたる同窓生が就職に関するさまざまな情報を伝えて就職活動を支援すること、在学生とのコミュニケーションを図る場

同窓会主催

就職活動支援相談会を開催

けやき

埼玉大学教養学部同窓会(けやき会)だより

とすることを目的としています。今回は、約十年ぶりの開催となりました。四年生を含めて約二十名の学生、学部長をはじめとする教養学部の教職員の方々、二十名以上の同窓生の参加がありました。はるばる仙台、名古屋からかけつけてくれた方もいました。

第一部では、同窓生による「採用者側の視点」についてお話がありました。実際に、民間企業および官公庁で採用にかかわった経験者から、就職活動をはじめににあたってどのようなところに注意をしたらいいか、採用側が注目するポイント等のスピーチでした。採用担当者の生の声を聞くいい機会になったと思います。

引き続き、今年就職が決まった四年生のスピーチです。四年生七名が、それぞれの就職活動にたいする姿勢、活動方法な



どについてアドバイスをおこなっていました。一番身近な先輩である四年生からのさまざまなアドバイスは、後輩の学生にとってほんっとも参考になったのではないのでしょうか。

第二部の、業種別懇談会は、業種別にわけられたブースに、四年生・同窓生が数名ずつ入り、学生が自由に興味のあるブースを訪問できるような形式で

(二面につづく)

2005年3月1日発行
埼玉大学教養学部
同窓会(けやき会)事務局

定年退官される

先生方より

二〇〇五年三月をもちまして、佐藤敬三先生、高山巖先生が定年退官されます。先生方からご挨拶をいただきました。

佐藤 敬三先生

(哲学・人間システム論)

退官に当たって

昭和四十四年に着任して以来、長期にわたり研究と教育にとりくむ機会が与えられたことに深く感謝しています。しかしその間、社会も大学も変化し、とくにこの数年の変化は唯然とするほどです。とくに大学は、研究者養成、職業教育、地域への貢献など、目的別に分化が強まる傾向にあり、それには疑問を感じています。教養学部にとってははなはだ厳しい状況が進んでいます。ただ流されるままに終らぬよう退官にあたり強く願っています。

教員動態(敬称略)

(二〇〇四年三月、二〇〇五年一月)

新任

井口壽乃、小出慶一

移籍

西村清和、菅靖子

高山 巖先生

(国際関係論)

真理は人間を自由にする

私が卒業した大学のキャンパスの一隅に小さな瞑想堂があり、その外壁に「真理は人間を自由にする」という文字が刻み込まれていました。或る時、偶然、それを目にしたので、それ以来卒業するまで、そこを通るたびに、「真理の探究と人間の自由と、どう関係するのかわか？」と自問し続け、結局、答えを見出せないまま卒業してしまいました。しかし、六十歳を超えた最近になって、ようやくその意味の一端にふれることが出来るようになったような気がしています。皆さんも大学生生活四年間を振り返りながら、その意味についてお考えになってみたらいかがでしょうか。

2004年就職活動支援相談会

主催：教養学部同窓会（けやき会）
後援：教養学部教授会

14：00 〈第一部〉

- 1.同窓会会長あいさつ 同窓会会長 武井 尚
- 2.学部長あいさつ 教養学部長 関口 順 先生
- 3.「採用担当者の視点」～OBによる解説
 - ・民間企業 堀江 誠
 - ・公務員 森田 文
- 4.就職活動を終えた4年生による体験談（7名）
（スピーチ&パネルディスカッション）

（休憩10分）

15：20 〈第二部〉

- 業種別懇談会
各業種ごとに分かれ、業界のこと、業務の実際、就職活動についてなど、いろいろと相談をしてください。
- ・公務員
 - ・大学、研究者、小中高教員
 - ・メーカー、製造業
 - ・マスコミ、出版
 - ・金融
 - ・サービス・IT関連
 - ・流通

17：30 懇親会「Be-Plant」（大学正門前）

学生のみなさんもぜひ参加して、実際に社会で働くOBたちと自由に交流してください。

当日のタイムテーブル



行いました。参加した学生は、一カ所だけでなく、教カ所ブラスをまわって、先輩の話聞いていました。アットホームな雰囲気の中で、就職活動に関することだけではなく、仕事内容、会社の様子など、さまざまな質問がありました。通常はなかなか質問しにくいことでも、同じ教養学部の卒業生なので、安心して聞くことができ、また答える側もかわいい後輩のために熱心に応答していました。各ブ



今回は久しぶりに就職活動相談会を開催してみ、学生、教職員、卒業生による貴重なコミュニケーションの場になったことを実感しました。縦のつながりが薄い教養学部といわれますが、自分の体験を話すために参加してくれた4年生、はるばる

スともとても盛り上がりつつありました。
本やインターネットなどからはなかなか得られにくい、実際に働いている先輩の生の声を聞くことができる貴重な場になったと思います。
二時間半にわたる就職活動相談会のあとは、Be-Plantで懇親会が開催されました。多くの人に参加して、懇親会でも就職に関する相談、会社のこと、業種のことについての話で盛り上がりました。



遠方からかけつけてくれた卒業生、残念ながら参加はできませんが、協力はしたいというメッセージが届いた卒業生、そして主役の在学生、教職員の方々。この会の開催を通して、在学生、教職員と卒業生だけではなく、卒業生同士、参加者みなさんのコミュニケーションが促進されたと思います。これをきっかけに、今後も交流を広げていけるように努力していければと思います。

埼玉大より

石原 裕

(埼玉大学生協同組合勤務、1995年卒)

卒業されてから一度も埼玉大を訪れたことがない、十年、二十年大学にいらつしやつていない方も多いかと思ひます。そういった同窓生の方に、大学や、大学近辺の様子を紹介していきたいと思ひます。

今回のテーマは、自転車での学内入構禁止です。

二〇〇三年十月より、自転車の学内入構が禁止となりました。自転車は、キャンパス北東部(教養学部棟の裏手)の自転車置き場に駐輪し、学内は徒歩で移動することになりました。教職員の通勤用の自動車も、学内奥のかつてサークル小屋のプ



駐輪場



自転車のなくなった教養学部付近

レハブがあった一帯につくられた教職員駐車場にとめることになりました。

自転車が各建物の入口前に乱雑に止められており学内の通行の妨げになっていたため歓迎の声もありましたが、体育の時間など、特に教養学部の学生は一番奥のグラウンドから一番手前の学部棟まで移動して講義を受けるため、不便との声もあります。

賛否両論ありつつも、自転車、自動車が多くなったため、学内が非常にすっきりした状態になっていますので、ずいぶん違った印象をもたれるかと思ひます。

自転車通学した方、バス通学の方、そして北浦和のキャンパスしかご存知ない先輩も、変化した埼玉大学を一度ごらんいただければと思ひます。

名簿発行のご案内

教養学部では十四年ぶり、文理学部では実に二十五年ぶりの名簿が四月に発行されます。三六〇〇円となります。原則として永年会費をお支払いの方のみの販売となりますので、会費未納入の方は、この機会にお支払いください。

(入会金五千円、永年会費五千円)

同窓会活動の記録

二〇〇四・二・二八 埼玉大学同窓会連合会理事会 (埼玉大学学生会館)

二〇〇四・三・一 会報「けやき」第四号刊行

二〇〇四・三・一八 理事会

(さいたま新都心・埼玉県産学交流室)

二〇〇四・五・一三 理事会

(池袋・談話室滝沢)

二〇〇四・五・一四 教授会との懇談会

(さいたま新都心・埼玉県産学交流室)

二〇〇四・五・二九 埼玉大学同窓会連合会総会

(埼玉大学学生会館) 二〇〇四・七・二九 理事会

(埼玉大学第二食堂) 二〇〇四・一〇・二七 理事会

(新宿・談話室滝沢) 二〇〇四・一〇・三一 理事会

(新宿・談話室滝沢) 二〇〇四・一一・六 就職相談会

(埼玉大学第二食堂) 二〇〇五・一一・九 理事会

(新宿・談話室滝沢) 二〇〇五・一一・三三 理事会

(新宿・談話室滝沢)

編集後記

今回の編集を担当しました同窓会事務局の石原です。四号の発行から早くも二年たちました。昨年準備期間が短く、編集担当の兼子さんにはご苦勞をおかけしたのですが、今回も準備期間の短いなかでしたが、何とか同窓生の皆様にお届けすることが出来ました。

3月で定年退官される佐藤先生、高山先生には大変お世話になりました。お二人の新たな出

発を祝福させていただくとともに、今後も私たち同窓生に対して、応援いただければと思ひます。

就職活動支援相談会については、当日司会を務めてくれた安部理事にお頼ひしました。写真は関根理事撮影のもので、どうもありがとうございました。お忙しい執筆をお願いした榎本理事、櫻井理事に感謝申し上げます。

昨夏に仕事上の担当が替わってからの、同窓会活動にさける時間が大幅に少なくなりました。4月発行予定の名簿の作成関連で手一杯で、この間皆様から寄せられている会費や寄付の整理も遅れています。事前にご寄付をいただいております。同窓会から名簿を贈呈させていただきます。予定の方にも名簿販売のご連絡が届くなど、ご迷惑をおかけしています。

名簿が完成すれば、名簿を核に同窓会活動が活性化すると思ひます。また、就職活動支援相談会に多数の同窓生が参加してください、「就職」を切り口に同窓生が大学に、また在学生とかわれる場面をもっと作っていただければ、多くの皆さんに同窓会活動に参加していただけるのではないかと思ひます。これからよろしくお頼ひいたします。